

## 基本項目

開講科目名 / Course Name (Japanese) 実践グローバルリーダーシップ

サブタイトル / Subtitle 授業運営を通してリーダーシップを学ぶ

開講科目名(英) / Course Name Practicing global leadership

時間割コード / Course Code 311127 (OSIPP) / 220476 (法学研究科) / 020278 (法学部)

開講区分(開講学期) / Semester 春夏学期

曜日・時間 / Day and Period 金 5 16:50~18:20

講義室 / Room OSIPP 棟 講義シアター教室 開講言語 / Language of the Course : 日本語

単位数 / Credits 2 対象所属 / Eligibility 全学年 授業形態 / Type of Class 講義科目 (一部集中)

担当教員 / Instructor 南部 靖之、南部 真希也、神余 隆博、小池 未来、西嶋 聡、野村 美明

## 詳細情報

### 授業の目的と概要 / Course Objective

(目的)

この授業は、グローバルなリーダーシップの習得と向上を目的としています。

リーダーシップは、リーダーとメンバーが、地球の様々な地域で社会の問題の解決のために、相互に影響を与えながら協力して行動していくことです。

この授業では、リーダーシップが様々な役割を総合的に果たして現状を変革(イノベート)することにあることをふまえ、受講生が「ファシリテーター」「機材係」などの様々な役割をもって授業運営に携わることでリーダーシップの実践を行います。

学生主体の授業です。授業を受けるのではなく授業を創る準備をしてきてください。

(概要)

①グローバルな視点からリーダーシップを実践され様々な分野でイノベーションを引き起こしてこられた方々を講師にお招きし、哲学・経験を語っていただきます。

②双方向的な対話と振り返りを通して、現代社会が直面している問題とその解決のためのリーダーシップについて考察する機会を持ちます。

③発言しやすい環境作りと集中的な練習のために、集中講義が行われます。(受講生は原則として参加してください)

(実務経験のある教員による授業科目)

グローバルに通用するイノベーションを引き起こすようなリーダーシップはいかにして可能かを NPO やベンチャー企業のトップなどが五感を通じて示す。

(授業形態)

授業時間は原則として金曜の 16:50~18:20 です。16:50~17:00 (イントロダクション)、17:00~17:40 (講義)、17:40~18:10 (Q&A、ディスカッション)、18:10~18:20 (振り返りシート記入/ゲスト・先生方講評) です。授業計画に基づく詳細な講義日程を、GLP ホームページ、に掲示します。なお、授業の一部を 1・2 年生の授業と共有します。

(受講理由書)

シラバスを熟読して、なぜこの授業を受講したいかを記載した受講理由書を CLE にて提出してください。提出内容は A4 用紙一枚以内(Word ポイント 11)とし、ファイルのヘッダーに提出日 氏名 学番 メールアドレスを表記すること。また、必ず表題(データタイトル)に、「2023 実践グローバルリーダーシップ(受講者名)」を表記すること。4 月末日が最終締め切りです。

履修登録をしていないと CLE にアクセスできないので、早めに履修登録をしてください(KOAN での履修登録した翌日に CLE にアクセスできるようになります)。

〈昨年度の外部講師〉

- 島田 由香 (ユニバー・ジャパン・ホールディングス株式会社 取締役 人事総務本部長)  
外岡 瑞紀 (公益財団法人 世界自然保護資金ジャパン (WWF ジャパン) ファンドレイジング室 室長)  
林 久美子 (株式会社 E the P COO)  
招へい教授 南部 靖之 (株式会社パソナグループ代表取締役グループ代表)

〈受講生の感想〉

これまでたくさんの壁を乗り越えてきたゲストの言葉は生半可なものではなく、どれほどに強い自分の軸とグローバルな視点でこれからの日本を見据えているのかがひしひしと伝わってきた。私にとってはこの授業を受けた大きな財産となった。(医学系研究科保健学専攻 1 年)

真のリーダーシップとはフォロワーとリーダーが 相互に影響を与え合い、共通の目標に向けて共に進んでいくことだと学びました。それにより認識を改め、リーダーが必ずしも完璧である必要はないこと、むしろ相互作用の中でフォロワーと共に成長し、その結果優れたチームとして 成熟してくのだと考えるようになりました。

(法学部国際公共政策学科 3 年)

※昨年度の講義日程は以下の URL にて閲覧可能です。

<http://www.osipp.osaka-u.ac.jp/leader/jissen.html>

## 学習目標 / Learning Goals

- ①授業の企画・運営に携わることによって、リーダーシップを実践的に習得し、向上させることができるようになります。
- ②様々な分野でリーダーシップを発揮されてきた方々の話を聴くことにより、「リーダーシップとは何か」を具体的に把握できるようになります。

## 特記事項 / Special Note

本授業は対面で行います。

この授業は、大学院国際公共政策研究科グローバルリーダーシップ・プログラム (GLP) の協力のもとに開講します。GLP で開講する科目を続けて受講することで、リーダーシップをよりよく理解し、身につけることができます。

GLP は大学院副専攻/大学院高度副プログラムです。要件を満たせば修了認定書が発行されます。

障がい等により本講義の受講に際し特別な配慮を要する場合は、法学部教務係に事前に相談するとともに、初回授業等、早期に授業担当教員に申し出てください。

## 授業計画 / Class Plan (ゲスト講師の予定により変更の可能性あり)

- 第 1 回 オリエンテーション
- 第 2 回 リーダーシップの基礎
- 第 3 回 集中講義の計画
- 第 4 回 阪大講義
- 第 5 回 授業運営に関する議論/集中講義の計画
- 第 6 回 ゲスト回練習
- 第 7 回 講師 1 講義
- 第 8 回 講師 2 講義
- 第 9 回 ゲスト回振り返り/プレゼンテーション準備①

第 10 回 講師 3 講義

第 11 回 プレゼンテーション準備②

第 12 回 振り返りプレゼンテーション

第 13 回、14 回、15 回 集中講義\*1

#### 【集中講義について】\*1

日程： 土日 (1泊2日/日帰り) ※ 感染症対策のため、変更する可能性あり

場所： 株式会社パソナグループ様研修施設 (兵庫県淡路島)

参加費・交通費：無料

2022 年の内容例 (日帰りの場合)

- ・施設見学 (チャレンジファーム、禅坊靖寧など)
- ・講義
- ・プレゼン&ディスカッション (日本語/英語)

### 授業形態 / Type of Class

講義科目 (一部集中)

### 授業外における学習 / Independent Study Outside of Class

学習効果を高めるため、グループによる事前の準備、事後の反省と受講者による予習が求められます。

この授業の発展形として、リーダーシップに関する考え方とディスカッションに重点をおいた「リーダーシップを考える」が開講されます。さらなる発展を目指してください。

### 教科書・教材 / Textbooks

- ・GLP 共通テキスト (授業中に配布/CLE に掲載するリーダーシップに関するテキスト)
- ・その他適宜資料を用意する (CLE 掲載または配布)

### 参考文献 / Reference

以下の他は、講義中に指示します。

野村美明ブログ <http://nomurakn.blogspot.jp/> = 過去の授業の教材や参考資料を掲載しています。「リーダーシップ」で検索してみてください。

ロナルド・A.ハイフェッツ/ 幸田シャーマン 訳『リーダーシップとは何か!』(産能大学出版部, 1996.) = 共通テキストが引用している本です。阪大図書館所蔵(Leadership Without Easy Answers, 1994)

『リーダー・パワー』ジョセフ・S・ナイ (日本経済新聞出版社 2008 年) (原著 Joseph S. Nye, Jr., The Powers to Lead, Oxford, 2008) = 共通テキストが引用している本です。

シャロン・ダロツ・パークス/ 中瀬英樹訳『リーダーシップは教えられる』(ランダムハウス講談社、2007 年) (原著 Sharon Daloz Parks, Leadership Can Be Taught, Harvard Business School Press, 2005).

平田オリザ・蓮行『コミュニケーション力を引き出す』(PHP 研究所、2009 年)

堀公俊『ワークショップ入門』日経文庫 2008 年。プログラムデザインやファシリテーションスキルが学べます。

### 成績評価 / Grading Policy

提出シート (振り返りシート、自己・相互評価シート) 40%、レポート類 (受講理由書、学期末レポート) 30%、平常点(役

割分担等) 30%

- ・受講理由書の締め切りは 4 月末日です。
- ・受講理由書と学期末レポート (総合振り返り) の 2 つを提出することによって、受講前後で自分自身にどのような変化が生じたのかを実感できます。

### 受講生へのメッセージ / Messages to Prospective Students

授業目的に共感し、対話型授業と協働作業に積極的に参加する学生を望みます。

※提出物に関しては、個人が特定できない形で、授業の改善や研究のために引用したり、ゲストに共有させていただく場合があります。

### 授業担当教員

野村 美明 国際公共政策研究科 nomura@osipp.osaka-u.ac.jp

小池 未来 国際公共政策研究科 glp@osipp.osaka-u.ac.jp

西嶋 聡 国際公共政策研究科 glp@osipp.osaka-u.ac.jp